五戸町議会第4回定例会 一般質問通告一覧表

通知	 -	質	問	者	質	問	事	項		質	問	Ø	要	山区
1	問答	柏	田匡	智		: 今後	後の日	田 再 確	ら統まく発れ保(1) 実(2)	て合、就すきが五は新いに人業るて重戸。規	が、対す減態災ると消し、地対のに現思防に強力をはいる。	は安まなけれています。	で先子の出た、計でした。	定はてだの員の 目が分いけ日が団 めの。なにら確 概

通告順位	質問 方式	質問者	質問事項	質 問 の 要 旨
2	一一	鈴木 隆 也	1. 新型コロナウイルス感染症が町財政に与える影響について	新型コウイルスが世界中で猛威を振る地に伴い、我が日本においても緊急事態宣言は解除されている。緊急事態宣言は解除されている感染拡大に多くの国際なっている感染ができれる。場合のの、引き続きないる。自粛なられている。とは、経済に対してマイナスでは、経済に対してマイナスでは、経済に対してでも無くのの企業を書きが経営の逼迫に苛まれている。また、これらの自粛の影響が大きれている。また、これらの自粛の影響が大きがに伴い、体業あるいは最悪の場響が大きが指察されている。また、若宮町長におかれましては、外が推察される。これらのことは収入の落ち込みが推察される。また、若宮町長におかれましては、外が推察される。また、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学の大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、

通告順位	質問 方式	質	問	者	質	問	事	項	質 問 の 要 旨
									(3) 今後の新型コロナウイルス感染症に関連する町独自の対応策をどのように考えているか。また、その予算規模と財源は。 (4) 道路や公共施設などの社会基盤整備に代表される『取り組まなければならない事業』。一方、若宮町長が選挙公約で謳った各種の『取り組みたい事業』。 財源には限りがある中、新型コロナウイルス感染症に関連する町独自の対応策とこれらをどのように進めるのか。

通告順位	質問 方式	質	問	者	質	問	事	項	質	問	Ø	要	山下
					町立営と	二小中	コ学村 ・生 ²	禍交 徒 ての 運 心	いを のるる化違 (1) 取)が)の会ンる)ナー町儀々授験ま、なこ学り授そ修機やクかG禍立なな業学た児いで校組業の学会学ー。Iに	小く対の習、童。以再みの対旅は習ルーGお目中さ応遅の以や「下開は遅応行確発なーAけを学れ策れ機能をあって、れま、保表と「スる集	文たを含くは 頁当 がようさ会の ク新めも。講修のはは 目た 取。泊れ、あ 一たて長 単じが減き安 こり り 宿の上り 構なる	間 再行少くに い感 ざ なか記方 舞学らに 開をが教思 て染 た ど。録を は習こわ はは不育っ 質予 さ のま会如 、スれ	拡た しじ安環て 間防 れ 体た、何 新夕の 全大り ため視境い す対 て 験、合に 型イ取 かに休 もとさがる る策 い 学運唱考 コルり 。伴校 のすれ変に 。の る 習動コえ 口と組

通告順位	質問 方式	質	問	者	質	問	事	項	質	問	の	要	山口
3	一 一 問 答	中川	川原	Year Control of the	五策に	-		生化の	あ事一る(1) 性を撤か)発出採こ繋)張中会ながる業体と)性を撤か)発出採こ繋)張中会なが町、と思最化凍回。令表・択のげ活っではが、	す種つ。にたしる 2れ大体業のあい五特協後まる団て 三めたの 年た事と内かるる戸に力のた施体行 浦にとか 5、業し容。五団町おし協、1	策とう 前計こ、 月令モてと 戸体観互あ力色に共事 町画ろそ 22が戸ど 町は光のう制なは、行業 長けざれ 2年ル戸の づ巻協同べにイ	町うな がこあと 日度事団ン く数会団きはべ町うど 町まがも に「業選う りるとを団のン独業い 中ち、馬 総関決定に かと瓦理休よト	、ろ 心の今開 答係定さ活 た町い 街駅後す 省人定れ性 め民ろ の構白る か口さた化 にとあ 活想紙の ら創い。に 頑

通告順位	質問 方式	質問	者	質	問	事	項	質	問	0	要	以田
4	一一	豊田:	孝夫			おけっ	る農地	いる耕のいい(1) というと、「は、「は、」の田さ、「は、「は、」の当の出のでは、「は、」の当のでは、「は、「は、」の当のでは、「は、」のでは、「は、」ののでは、「は、」ののでは、「は、」ののでは、「は、「は、これ」が、「は、「は、」のでは、「は、」は、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、」に、「は、」に、「は、」に、「は、」に、「は、」に、」に、「は、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、」に、「は、」に、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、は、」に、	お多ずい以 等業員内たうのは等はるに接らく 中りんさにに下 の委と容、に水。が。面おすなら 間をぼで放つ点 利員農は実な田 生ま積い低いは 管行	にあ棄な気 用会地ど也っの えこよてしよめ 理っれ樹る状がに のが利の調て保 てそ 、のうる 機てま木ゼ態のひ 最置用よ 、ンジ育 耕の 農 水なっ 構っで	やっとでて 適置最う会る面 作う 道田耕ま をるに葦かなはお 化れ適に議。積 不ち にを作た 介、どがくるな答 をて化な等 と 能復 直経不、 し水れ	、生ののいえ 進い推っの 実 と元 接由更そ て田く実目え農はか願 める進て頻 際 思可 繋しなの 農にら績にて地資。い るが委い度 の わ能 がな箇対 地ついはついが源つた た、員るは 耕 れと らけ所策 のいあ。

通告順位	質問 方式	質	問	者	質	問	事	項	質	問	の	要	辽田
					地垣	防災		おける	常らにが点(1) 3るウよ)てこは)模生れよあに)3るウよ)てこは)模一活てるるつ当月記イう避いろな当様	経る難もての修がス、所。あのの済が行しお地正見の追、中るかハ活、動れ答域さ当よ加避に言。サ	動こをなえ防れたう修難よ投ニ・家等の余い願災てらな正場屋置ニドにはよく儀ごけ計ないなを所内場ニドに	できなないと画る、病考の表に、ツーな時くて、が、今にて板示つ、プー変にさば、平疫叵対しがしい	これ自れ、 成病の応な設てて 製るりを然る以 3にコでい置いの 作時、強災場下 0対ロきかさる定 中期日が害合の 年すける。れとめ のは